

北朝鮮またミサイル



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2017年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

先月末に続き襟裳岬東太平洋落下

日本政府関係者によると、北朝鮮が日本時間の15日午前7時前、ミサイルを発射した。韓国軍

合同参謀本部も、北朝鮮が首都平壤近郊の順安地域付近からミサイルを発射したと発表した。

全国瞬時警報システム(Jアラート)によると、

ミサイルは北海道地方から太平洋に通過したもよう。菅義偉官房長官は同日午前記者会見し、北朝鮮のミサイルは襟裳岬の東約2千キロの太平洋上に落下したと明らかにした。日米韓がミサイルの種類などの分析を急いでいる。

国連安全保障理事会は9月11日、北朝鮮に対する石油供給制限に初めて踏み込んだ制裁決議を採択。北朝鮮外務省は「全

面的に排撃する」と反発していた。

北朝鮮は9月3日に大陸間弾道ミサイル(ICBM)搭載用の水爆実験とする6回目の核実験を実施したばかり。ミサイル発射は、8月29日に北海道上空を越えて中距離弾道ミサイル「火星12」を太平洋に発射して以来となる。制裁圧力を強める米国に屈しない姿勢を誇示する狙いとみられる。

Jアラートは警報の対象地域を北海道と青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、新潟、長野の11県としている。



北朝鮮がミサイルを発射したことを速報するテレビ画面＝15日午前7時3分、東京都港区